

## 編集後記

聖徳大学生涯学習研究所では平成11年度以来、地域の生涯学習の推進のために「生涯学習フォーラム」の開催や「課題別研究会」の実施、さらに調査研究、資料の発行など、聖徳大学の人的資源を活用しつつ生涯学習の研究・実践に努めてまいりました。

また、聖徳大学生涯学習社会貢献センターがスタートして5年、地域社会への貢献のために専門的な研究機関としての充実を期待されています。そして本紀要は、その一つとして継続しているものです。研究内容としては、例年どおり研究を継続しているもの、新しい領域にチャレンジする課題など広領域にわたっております。これらの課題について、さらに研究を推進し深めるために、「生涯学習研究所紀要第7号」をここに発行することとしました。

平成15年度に、文部科学省の私立大学高度化推進事業「学術フロンティア推進事業」の研究を経て、聖徳大学生涯学習研究所が「生涯学習の観点に立った『少子・高齢社会の活性化』に関する総合的な研究」において、生涯学習の研究拠点として「生涯学習社会貢献センター」が設置され、4年が経過しました。そしていま、このセンターが多様な機能を果たし、地域にも定着したと感じております。

とくに、この研究紀要の発刊は今後の研究所の研究事業の中心になるものです。

なお、本号は、前号に続いて、多様な生涯学習の領域の中から、独創的な研究が発表されております。この内容については、今後も研究を拡大していくことに努めたいと思いますし、さらにこの研究紀要が、これからの研究に活用されますよう念願しています。

なお、ご多忙の中、査読及び内容のご指導をいただいた先生方に深く感謝申し上げます。

聖徳大学生涯学習研究所

所長 福留 強